



インスピレーションになろう

2018～2019年度
第28巻 15号
2018年11月01日

● クラブテーマ ●
「今、新しいことに挑戦しよう」

■■■ 本日のプログラム ■■■
■ 地区大会報告 会長・幹事他 理事会⑥ ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1296回 例会 会長挨拶◆◆

「四つのテスト」とビジネスの繁栄
いわゆる四つのテストは、次の通りです。

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

シカゴのロータリアンのテイラーという方の（後にRI会長になった方）話で、1932年にさかのぼり、同氏は、ある破産しかけている会社を引き受けその責任者となった。会社は負債が資産を40万ドルも超過していたそうです、当時の40万ドルは今の金額に直すと、少なくとも400万ドル以上になるでしょう。

どうしたらこの会社を立て直すことができるのか、テイラー氏の苦しい日々が続いた。特に競争相手の会社にはない特色を探さなければならない。そして1932年7月のある日、神に祈り、四つのテストを思いついた。この四つのテストに基づいて、会社の在り方を再検討してみた。すると如何に四つのテストの精神が、今までの会社のやり方と矛盾しているかに気付いたそうです。例えば“真実かどうか”という点について、広告一つとってみても、四つのテストの精神からかけ離れていたのです。約2か月の間、四つのテストについて深く考え、やれるという自信を得た同氏は、社長として四つの部門の責任者を呼んで、四つのテストについて説明し、意見を求めたそうです。その4人のうち1人はカトリック教徒、1人はメソヂヤン教、1人は伝統的なキリスト教、1人は長老派の信者であった。4人共4つのテスト、つまり、真実（正しいこと）、公正、善意と友情、皆のために、などの精神は、彼らの信仰に合致するし、さらに会社のモラルを高め、ビジネスの成功、発展にもつながると考え賛成をしたのです。やがて会社の全従業員は、4つのテストを暗記し、それをもとに行動するよう求められた。

そして、例えば広告は、誇大広告の部分はけずられ、その結果一般の人々の信用をより得ることが出来た。商売には競争相手がつきものであるが、競争相手の製品に対する中傷、攻撃は控えられ、相手方の信頼と友情をより得ることが出来たそうです。そして自分たちと関係する人々の信頼と友情を得ることは、ビジネスの成功に不可欠である事を学んだのです。

テイラー氏の会社では、20年間にわたり4つのテストを守ることにより、ビジネスの上で、販売は増え、利益は上がり、1932年には破産の一步手前の会社が業績を回復し、20年間の間に負債を全部返したのみならず、200万ドルの資産を得たし、株主には100万ドルの配当をするまでになったそうです。私たちもこの精神を見習うべきですね。

11月のプログラム

1297回 18:30 11月08日(木)	ニューウェルサンピア沼津 夜間例会 沼津4クラブ合同例会 クラブ管理運営委員会
1298回 12:30 11月15日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 ロータリー財団委員会 エンボルト・ボロルトヤ様
11月22日(木)	祝日週休会
1299回 12:30 11月29日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 沼津市長 頼重秀一様
1300回 12:30 12月06日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会③ 会長・幹事・各委員会下期活動計画
1301回 12:30 12月13日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 タジマコンサルタント田嶋秀雄様 理事会⑦
1302回 18:30 12月22日(土)	ニューウェルサンピア沼津 クリスマス家族 例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会 曜日変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 29名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1294回	29名	24名	5名	100%
1296回	29名	24名		82.76%

●欠席者（5名）

井上武雄、宮口雅仁、下原満知子、鶴田龍聖、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

宮島賢次(10/26, 10/27 米山記念館) 永井克彦
(10/23 福山ロータリーEクラブ2710)
鈴木和憲、重光 純、芹澤貞治(10/27, 28地区大会)
久松 但、神尾栄一、宮島賢次、名古良輔、芹澤和子、
下田朗弘、杉山恵嗣、杉山真一、鈴木博行、田村治義、
山田和典、山本宜司(10/28 地区大会)

会 長	鈴木和憲	幹 事	重光 純
広報委員長	神尾栄一	編 集 者	名古良輔

●スマイル報告

1. 鈴木良則、2. 渡邊亀一：家族の誕生日のお祝いありがとうございました。
3. 重光 純：地区大会の報告を宜しく申し上げます。
4. 永井克彦：2週連続で欠席し申し訳ありませんでした。
5. 名古屋良輔：10月も月100キロ走り、連続44ヶ月、目標達成しました。
6. 本村文一：所用につき、早退させていただきます。

●次年度理事

- ・久松 但：会長
- ・成田みちよ：幹事
- ・植松 正：副会長（クラブ管理運営委員会）
- ・永井 克彦：理事（公共イメージ向上委員会）
- ・鈴木 和憲：理事（会員増強維持委員会）
- ・土屋 昌之：理事（奉仕プロジェクト委員会）
- ・宮口 雅仁：理事（ロータリー財団委員会）
- ・田村 治義：理事（SAA）
- ・下原満知子：理事（会計）



★ 鈴木和憲会長 ★

去る11月27・28日の両日山梨県甲府市の甲府富士屋ホテルにて開催されました。27日の大会初日には私と重光幹事・芹澤貞治研修リーダーの3人が出席しました。13時より地区委員長・副委員長、クラブ会長・幹事会が星野ガバナーの開会点鐘により開催されました。

今回、非常に興味をひかれたのが、RI会長代理の足立功一PGの挨拶でした。その一部を紹介します。

「私たちは今、時代の変遷（へんせん）に取り残されないように将来を見据えたクラブ変革をしていかなければなりません。それは技術的な面と理論的な面は分けて考えなければなりません、基本的にはロータリーの他の団体と違う独創性を高め、卓越した奉仕活動を行ってほしいと願います。

様々な職業、国、文化、地域社会の人々が協力するロータリーの可能性は無限であり、その奉仕活動が社会との調和を図り、人々への感動をもたらすのであればロータリーは未来永劫（えいごう）存続し、ロータリーの一番の目的である持続可能な奉仕につながるものであると思います。」とっていました。

そして、この地区大会はまさに、星野ガバナーの思いを体験する素晴らしい場になるとも言っています。

また、星野地区ガバナーは、バリー・ラシンRI会長の掲げた“BE THE INSPIRATION”が、各ロータリアンがその地域で行う奉仕活動を通じて一般社会にロータリーは何をしている団体なのかを浸透させ、“DOING GOOD IN THE WORLD”を掲げる国際ロータリーとして、ロータリークラブの活動はもとより、個々のロータリアンもその言動や行動を通して、地域社会の人々へも良いインスピレーションになれるよう努力しましょうと言っております。そうすることにより、ロータリーのビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」に沿うことが出来ると確信しております。

今回の地区大会では、時代の変遷に取り残されることなく、常に一步先を見据えたロータリーの変革をすべきではないのでしょうか。そんなメッセージがあったように思われました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津柿田川RC
11/7(水)→4(日) グランドゴルフ
- ②沼津北RC
11/6(火)→8(木) 沼津4RC合同例会
- ③長泉RC
11/7(水)→4(日) なでしこサッカー大会観戦

2. 連絡事項

- ①本日は、理事会があります、理事の方は宜しくお願ひします。
- ②次週8日は、ニューウェルサンピア沼津にて、沼津4RC合同例会で、夜間例会です。バスに乗車の方は、沼津駅北口17:00です。原駅も17:20に迎えに行きます。
- ③本日、17:00～インターアクト例会が開催されます。

理事会報告

協議事項

- ①12月度プログラムの件 クラブ管理運営委員長 久松 但 君
・別紙にて ⇒ 承認。
- ②12月13日(木)外部卓話者の謝礼及び交通費の件
・田嶋様に交通費及び謝礼金をお渡しする。⇒ 承認。
- ③10月27日(土)地区大会バス交通費（会長・幹事・研修リーダー）の件
・ ⇒ 承認。
- ④11月8日(木)沼津4クラブ合同例会の件 クラブ管理運営委員長 久松 但 君
・別紙にて⇒ 承認。
- ⑤12月22日(土)クリスマス家族例会の件 クラブ管理運営委員長 久松 但 君
・別紙にて⇒ 承認
- ⑥平成31年1月10日(木)新年同伴例会の件 クラブ管理運営委員長 久松 但 君
・別紙にて⇒ 承認
- ⑦クリスマス家族例会における寄付の件 奉仕プロジェクト委員長 鈴木博行君
・寄付金先の候補については、小委員会等にて審議の上、改めて理事会へ⇒ 継続審議
- ⑧FACEBOOKの件
公共イメージ向上委員長 神尾栄一君
・FACEBOOKについては、小委員会にて審議の上、改めて理事会へ。⇒ 継続審議



★ 重光 純 幹事 ★

地区大会に二日間参加したのは今回が初めてでしたが、星野ガバナーのお人柄の影響か、終始和やかな雰囲気にも包まれた大会であったと思います。

その中でも印象的だったのは、当クラブがRI会長賞を受賞したことと、初日に行われた井原實様による地区指導者育成セミナーであり、セミナーではRLIに関する詳細なご説明とデモンストレーションが行われ、今まで曖昧であったRLIに対する認識がかなり具体的にになりました。

その他のプログラムも印象的なものが多く、地区最大のイベントである地区大会にふさわしい充実した二日間であり、学ぶところの多い得難い経験をさせていただき、星野ガバナーを始めとするホストクラブの皆様にご感謝しております。



★ 杉山恵嗣君 ★

10月28日に2620地区大会に参加させていただきました。最初に地区大会の参加者人員に驚くとともにロータリークラブの歴史の深さを痛感いたしました。

また、各ロータリークラブが真剣に奉仕を考え実践していることにも感銘を受けました。

米山学友ホームカミングでは、于咏氏の①自己自身が成長すること②人々に尽くすことが、豊かな社会活動、豊かな人生をもたらすことを再認識させられました。

中国の一般的両親の経済力(日本と比して貧しい経済力)では、日本に適応できない中、彼女の努力し、成長する力を発掘し、ロータリークラブが手をさしのべて、彼女の社会活動を豊かにしたこと(もちろん、彼女の努力の賜であろう。)等、小さな小石が立派な宝石になる課程と心情とが如実に表現された講話でありました。

また、勝間和代氏の講話では、「男性は三色錐体であり女性は四色錐体である」「人の能力は生まれながらのものであることが五割は決まっている」「元来備わっている能力(才能、適正)を活かすことが重要」

「努力至上主義からの脱却」等が述べられ、性による思考、視野の広さ、着眼点の相違があるが、それは社会全体の財産であることの再認識をさせていただきました(小生が頭脳明晰ではないことは生まれながらのものである)。

また、一人の能力と努力では、限界があるが、個々の能力を活用すれば小さなグループから大組織まで円滑な業務がなされ確実な業績をもたらさせることが可能であると御教示をいただきました。

新会員研修では、RI会長代行 足立功一氏からロータリークラブの歴史、変遷、奉仕の理想等の講話がなされ、意義深いものでありました。これからは、ロータリークラブの「インスピレーションになろう」を思考し沼津西ロータリークラブの一員として活動をさせて頂こうと思っております。

また、この機会を与えて頂き感謝申し上げます。



★ 下田朗弘君 ★

10月28日、初めてRC地区大会に参加しました。大会では、星野ガバナーから歓迎の言葉と本年度RIのテーマであるBe The Inspirationについて世界各地で様々な訳され方や捉え方があるとお話を聞きました。新人向け研修では、足立RI会長代理から、RCの奉仕理念の変遷などのお話を聞きました。また、第2代よねやま親善大使のウ・エイさんから、米山奨学金制度について大変有意義な話を聞くことが出来ました。この貴重な機会を今後のRC活動に活かしていきたいと思いません。



地区大会集合写真



地区大会会場内写真



インスピレーションになろう

2018～2019年度
第28巻 16号
2018年11月08日

● クラブテーマ ●
「今、新しいことに挑戦しよう」

■■ 本日のプログラム ■■
■ 沼津4RC合同例会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1297回 例会 会長挨拶◆◆

沼津、沼津北、沼津柿田川の各ロータリークラブの皆様ようこそいらっしゃいました。本日は沼津4クラブの合同例会です。日頃なかなか一緒に活動する機会のない皆様とこうして一堂に会して例会を開くことは、まさにロータリアンの絆を深める良い機会だと思います。今夜のこの機会を有意義にお過ごしいただきたいと思います。

さて、話はかわりますが、昨日、今年度RI会長のバリー・ラシン氏及びロータリー財団管理委員長のロンD・パートン氏の連名で「親愛なるロータリーリーダーの皆様」と題してメールが届きましたのでご紹介いたします。

11月は「ロータリー財団月間」です。先日の「世界ポリオデー」では大成功を収めることが出来ました。皆様のご協力と支援に心から感謝いたします。

ロータリー本部のあるエバンストンでは、ロータリアン、ロータリー職員、ローターアクターが集まってポリオイベントの生中継を視聴し、バーチャルリアリティを体験し、共にポリオ撲滅への熱い決意を新たにしました。

又、世界ポリオデーに合わせて3,300のポリオ撲滅活動が世界中から報告されました。エバンストンでのイベントもその一つです。皆さんが認識向上に努めてくださったおかげで、ポリオ撲滅にさらに近づくことが出来たでしょう。

これからもロータリーのポリオ撲滅活動は続きます。識字率向上、経済発展、健康の促進、安全な水の提供、世界平和の活動など、あらゆる活動がロータリー財団を通じて実現しています。設立101年目を迎えた今、財団はロータリーのエンジンとなり、クラブや地区による大規模かつ持続可能なプロジェクトを支えています。

皆さんのクラブが大規模プロジェクトを検討している場合は、ロータリアン行動グループ(RAG)と協力することも可能です。RGAとは、マイクロクレジット、平和と紛争解決、健康、災害支援、水と衛生など、特定分野の専門知識と意欲をもったロータリアンとその家族や学友で構成された国際的なグループです。専門知識・スキルの提供に加え、RAGは補助金申請、地域調査、パートナーシップ、ファンドレイジング、モニタリングと評価においても、クラブを支援できます。RGAは、ロータリーの重点分野に関連するグループあります；人口と開発、水と衛生、家族の健康とエイズ予防、マイクロファイナンスと地域発展、平和。ロータリアン行動グループと連絡を取り、プロジェクトの企画段階から協力することをご検討ください。

また、11月27日(火)のGiving Tuesday(寄付の火曜日)に参加して、チャリティ活動をもって「財団月間」を締めくくりにしましょう。この日、世界中の多くの他団体への支援、または協賛が実現することでしょう。オンライン寄付の新しいプラットフォームにより、これまで以上に円滑に寄付できるようになりました。大切な方の名義での記念寄付もでき、その旨をEメールで通知、または印刷した通知書をお渡しすることもできます。

私たちはよく、ロータリー財団を「私たちの財団」と呼んでいます。ほとんどの慈善事業とは異なり、ロータリー財団は、真の意味で私たちの財団なのです。なぜなら、ロータリー財団はロータリーファミリーとその活動によって支えら

れているからです。今年度、財団は既に222件の地区補助金(総額3,190万ドル)と、41件のグローバル補助金(総額1,190万ドル)を承認しました。恒久基金と年次寄付をさらに成長させ、効果的で持続可能な未来を築いていくことが私たちの目標です。これによってロータリーは、世代を超えて「インスピレーションになる」ことができるでしょう。

感謝をこめて

11月のプログラム

1298回 12:30 11月15日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 ロータリー財団委員会 エンボルト・ポロトヤ様
11月22日(木)	祝日週休会
1299回 12:30 11月29日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 沼津市長 頼重秀一様
1300回 12:30 12月06日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会③ 会長・幹事・各委員会下期活動計画
1301回 12:30 12月13日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 タジマコンサルタント田嶋秀雄様 理事会⑦
1302回 18:30 12月22日(土)	ニューウェルサンピア沼津 クリスマス家族 例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会 曜日変更
12月27日(木)	裁量休会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 29名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1297回	28名	27名	—	96.42%
1295回	28名	24名	2名	92.86%

●欠席者(1名)

本村文一

●他クラブへの出席者

鈴木和憲(11/1 IAC例会)、本村文一、成田みちよ(11/6 沼津北RC) 鶴田龍聖(11/6 伊豆中央RC)

●スマイル報告

1. 木村智昭様(沼津北RC)：合同例会、沼津西クラブ様、ご苦労様です。

会 長	鈴木和憲	幹 事	重光 純
広報委員長	神尾栄一	編 集 者	名古屋良輔

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津RC
11月9日(金)→8日(木) 沼津4RC合同夜間例会
*MU受付 11:30~12:30 沼津リバーサイドホテルにて
- ②新富士RC
11月13日(火)→4日(日) サイエンス・プロジェクトIN FUJI
- ③沼津柿田川RC
11月14日(水)→8日(木) 沼津4RC合同例会
- ④裾野RC
11月9日(金) 移動例会 サインMU受付 10:30-12:30

2. 連絡事項

- ①11月11日(日)7RC対抗ゴルフコンペに参加の方は、宜しくお願いします。

ります。ある意味これからが本番です、普段ではなかなかお会いする機会の少ないロータリアンの皆様も多数おいでだと思います。皆様 是非時間の許すかぎり多くのロータリアンの方々と接して頂き有意義な時間をお過ごしください。只今より懇親会を開催いたします。

■ 懇親会の様子 ■



山口和一ガバナー補佐挨拶



沼津北 RC 木村智昭会長
乾杯の挨拶



司会は、
田村・颯川の名コンビ



積惟貞 PG を囲んで



下田朗弘君、杉山恵嗣君



新人紹介・手に手つないで

他クラブ会長挨拶



★沼津柿田川RC 濱田清明会長★

ご紹介頂きました本年度、沼津柿田川ロータロークラブ会長の濱田でございます。

本日は沼津西ロータリークラブ様のご準備の下沼津4クラブ計112名の会員の皆様にお集まり頂き、内17名の新入会員の皆様をお迎えしての合同例会が盛大に行われました。沼津西ロータリークラブ様のご尽力の下、楽しいひと時を過ごす事が出来、感謝申し上げます。本当にご苦勞様でございました。来年度は私共、沼津柿田川ロータリークラブがホストクラブとなります。今年度のような楽しい4クラブ合同例会が出来るよう準備して参りたいと思います。本日は誠に有難うございました。



★ 沼津RC 細澤哲哉会長 ★

皆さんこんばんは 今年度沼津RCの会長を務めてさせて頂いております細澤でございます。

宜しくお願いいたします。

懇親会の開会にあたり本日の沼津4クラブ合同例会を開催するに当たり 会場の準備等においてご苦勞をおかけ致しました沼津西クラブの鈴木会長はじめ会員の皆様方に熱く御礼申し上げます。さて例会も無事に終了致しました。沼津4クラブ合同例会の目的は 沼津市内の4クラブのロータリアンが一同にそろい親睦をはかる事であ

-----10月分出席一覧-----

颯川 (2, 1)	久松 (2, 1)	井上 (2)	神尾 (1, 1)	宮口 (③)	宮島 (③) + 5	本村 (③)
永井 (1, 1)	名古 (2, 1) + 1	成田 (2, 1)	芹澤和 (2, 1) + 2	芹澤貞 (③) + 1	重光 (③) + 2	下田 (2, 1) + 1
下原 (2, 1)	杉山恵 (③) + 1	杉山真 (③) + 1	鈴木博 (③) + 1	鈴木和 (③) + 2	鈴木良 (2, 免除)	田村 (③) + 1
土屋 (③)	鶴田 (③)	内田 (2, 1) + 2	植松 (③)	渡邊勝 (③)	渡邊亀 (1, 免除)	山田 (2, 1)
山本 (③) + 1			例会出席%	83.33 %	地区報告	96.43 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



インスピレーションになろう

● クラブテーマ ●
「今、新しいことに挑戦しよう」

■■ 本日のプログラム ■■
■外部卓話 ロータリー財団委員会
エンフボルト・ボロルトヤ 様■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1298 例会 会長挨拶◆◆

ロータリーのコミットメント

「ロータリアン」と呼ばれるロータリー会員は、これまで、単なる歴史の傍観者としてではなく、歴史の一部となって活躍してきました。ロータリーには、創設時から現在まで変わらない3つの特徴があります。

まずは、ロータリーの「国際性」です。創設後わずか16年の間に、ロータリークラブは6大陸へとひろがりました。日本では1920年（大正9年）に初のロータリークラブ（東京ロータリークラブ）が創立されています。今日私たちは、さまざまな方法で世界が直面する諸問題に応える為に、世界のほぼすべての国で活動しています。

2つ目の特徴は「粘り強さ」です。第二次世界大戦中、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、日本のロータリークラブはロータリーから脱退を余儀なくされました。しかし、これらの国々のロータリアンは、リスクを承知で非公式にミーティングを続けました。戦後、ロータリーに復帰したこれらのクラブは、ロータリーのみならず、国の再建においても大きな役割を果たしたのです。

最後に、「奉仕へのコミットメント」です。ロータリーは大きな夢を掲げ、常に高い目標を掲げています。1079年、ロータリーは、フィリピンで600万人の子供たちにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ撲滅活動のきっかけとなったのです。野生型ポリオウィルスが常在する国は、1988年の125か国から、2012年にはわずか3か国にまで減少しました。これはまさに、ロータリーによる奉仕へのコミットメントを裏付けるものでした。

11 月のプログラム

1299回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 外部卓話
11月29日(木) 沼津市長 頼重秀一様

12 月のプログラム

1300回 12:30	ニューウェルサンピア沼津	クラブ協議会③ 会長・幹事・各委員会 下期活動計画
1301回 12:30	ニューウェルサンピア沼津	外部卓話 タジマコンサルタント田嶋秀雄様 理事会⑦
1302回 18:30	ニューウェルサンピア沼津	クリスマス家族 例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会 曜日変更
12月27日(木)		裁量休会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 29名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1298 回	28 名	21 名	-	75.00%
1296 回	29 名	24 名	1 名	86.21%

●ゲスト

1. エンフボルト・ボロルトヤ様：よねやま親善大使

●ビジター

1. 原川 篤様：沼津北RC
2. 川口尚史様：沼津柿田川RC

●欠席者（7名）

久松 但、井上武雄、成田みちよ、芹澤和子
下原満知子、杉山恵嗣、内田逸美

●他クラブへの出席者

下原満知子(11/9 沼津RC)
内田逸美(11/9 裾野RC)
久松 但(11/14 長泉RC)
芹澤和子(11/14 沼津柿田川RC)

会 長	鈴木和憲	幹 事	重光 純
広報委員長	神尾栄一	編 集 者	名古良輔

●スマイル報告

1. 鶴田龍聖：先日は、家内の誕生日に素晴らしい生花を有難うございました。
2. 鈴木和憲、3. 重光 純、4. 宮島賢次、5. 鈴木良則、6. 渡邊勝也、7. 山本宜司、8. 永井克彦：エンボルト・ボロルトヤ様、本日の卓話を宜しくお願ひします。
9. 4RC合同例会2次会参加者：4RC合同例会2次会残金
10. 颯川ゆう子：すみませんが、本日、早退します。
11. 山本宜司：次回11/29例会は、研修会の為、欠席します。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士宮RC
11月23日(金) 祝日休会
- ②沼津RC
11月23日(金) 祝日休会 MU受付なし
- ③沼津柿田川RC
11月21日(水)→18日(日)ふれあい広場
- ④長泉RC
11月28日(水)移動例会サインMU受付 10:30-12:30
- ⑤裾野RC
11月23日(金) 祝日休会
- ⑥富士山吉原RC
11月29日(木) 特別休会

2. 連絡事項

- ①次週22日は、祝日週休会です。
- ②12/6の下期活動計画の原稿を、11/22までに、事務局に提出してください。

よねやま親善大使
エンボルト・ボロルトヤ様 卓話



私は大学3年生の時、米山奨学生になることで直接ロータリーと関わりを持つようになり、ロータリーについての理解が深まりました。実は、米山奨学生になる以前からロータリーと縁がありました。私の母校である「新モンゴル高校」の校長先生のジャンプ先生が元米山奨学生であり、高校の校舎も山形県および宮城県のRTNと一般人の寄付金で建てられていました。

私は米山奨学生になってから大学ではなかなか学べないこと3つのことを学ぶことができました。一つ目は、「出会いを大切にすること」です。米山事業の特徴は、カウンセラー制度です。奨学生一人ひとりに日本のお父さんやお母さんが密着して面倒を見てくれる制度のことです。カウンセラーが私のことを2年間お世話してくださり、そして卒業式の時、袴を貸してくださり、学生時代の一番良い思い出を作ってくださいました。カウンセラーと世話クラブの皆さんとの交流を通じて、私は自信を持つようになり、挑戦する意識が高まりました。

二つ目は、奉仕の精神です。私は、世話クラブの例会に参加することで日本の社会や奉仕活動の意義がわかり、自分自身もRCが目的とする世界平和に貢献できたらいいなと思うようになりました。帰国してから、ツェツェグンRACに入会し、モンゴル学友会の創立会員となりました。RAC代表プロジェクトとして、米山記念奨学事業と同じような奨学事業をクラブで発足しました。モンゴル国内の大学生を対象に一年間の授業料を支援する事業を実施し、現在47名を支援しています。モンゴル学友会としては、日本兵慰霊碑の敷地内で植樹活動をしたり、日本の「家庭の医学」という本をモンゴル語に訳し、郊外の人々に無料で配布したりするなどの活動をしていました。

最後に米山奨学事業は、人と人との出会い、そして奉仕活動を通して、ポジティブな考え方を育ててくれる素晴らしい事業だと思っています。考え方がプラスになることで、人はお互いを理解できるようになり、自信と夢を持てるようになります。相互理解は、ロータリーが目標とする世界平和への第一歩だと思います。私は、米山事業を通して皆様からインスパイヤーされてきましたが、これから自分がポジティブを発信しながら多くの人のインスピレーションになれるように頑張りたいと思います。

7RC対抗ゴルフコンペ (2018/11/12)



東名カントリークラブで開催されました。



インスピレーションになろう

● クラブテーマ ●
「今、新しいことに挑戦しよう」

■■■ 本日のプログラム ■■■
■ 外部卓話 沼津市長 頼重秀一様 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1299 例会 会長挨拶◆◆

ポール・ハリスとロータリーとオアシス
ロータリーを創ったのは、ポール・ハリスです。彼は晩年にMy Road to Rotaryという自叙伝を書いています。その中で印象的な記述があります。彼がロータリーを創ったが、ロータリーは彼にとってオアシスであった。という記述です。オアシスは、もちろん砂漠の中にあつて、苛烈な水の無い砂漠の中にあつて、豊かに水を供給し、人々に安らぎを与えてくれるところ です。

ポールハリスにとって、シカゴという都会砂漠の中で、ロータリーがオアシスであったのだと思います。

なおこの自叙伝の序文で、「自分の人生で重要なことが二つある。一つはロータリー活動であり、今一つは、故郷ウォリングフォードでの生活である（彼が育った村、ヴァーモント州）、ロータリー活動は、故郷の生活から生まれたとも言える」と述べています。

故郷での厚い友情、宗教的、政治的寛容さなどから生まれたということです。

ロータリアンであることの幸せ、それをもう少し引用すると、「栄光に輝くロータリーのメンバーであること、超我の奉仕を胸に良き人生を生きる道であるロータリーの一員であることの幸福、これはなものにも変えがたいものであります。私たちは、この幸せを感じさせ、教えてくれるロータリーを大切にしなければなりません。・・・」

こうしたポール・ハリスの思いは、古き良き時代のロータリーを感じさせますが、現代の私たちにとっても、ロータリーの創設者の思いを振り返ることも大事な事なのかもしれませんね。

12 月のプログラム

1300回 12:30 12月06日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会③ 会長・幹事・各委員会 下期活動計画
1301回 12:30 12月13日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 タジマコンサルタント田嶋秀雄様 理事会⑦
1302回 18:30 12月22日(土)	ニューウェルサンピア沼津 クリスマス家族 例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会 曜日変更
12月27日(木)	裁量休会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 29名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1299 回	29 名	26 名	-	89.66%
1297 回	28 名	27 名	1 名	100 %

●ゲスト

- 沼津市長 頼重秀一様
- 沼津市政策企画課秘書室主任 中村洋介様
- 芦川早延様：株式会社 サン・スマイル
代表取締役
- 小島純子様：小島レディースクリニック事務長

●ビジター

- 石川三義様：沼津RC IM実行委員会副委員長
- 渡邊洋二郎様：沼津RC IM実行委員

●欠席者(3名)

久松 但、鶴田龍聖、山本宜司

●他クラブへの出席者

会 長	鈴木和憲	幹 事	重光 純
広報委員長	神尾栄一	編 集 者	名古屋輔

●スマイル報告

1. 石川三義様、渡邊洋二郎様(沼津RC)：来年2月24日(日)沼津リバーサイドホテルにてIMが開催されますので、多数の方のご出席を宜しく願います。
2. 下田朗弘、3. 杉山恵嗣：誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 下原満知子：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
5. 芹澤貞治、6. 芹澤和子、7. 渡邊勝也：入会記念日のお祝いありがとうございます。
8. 鈴木和憲、9. 重光 純、10. 鈴木良則、11. 名古屋良輔、12. 本村文一、13. 成田みちよ、14. 神尾兼一：頼重市長様、本日の卓話を宜しく願います。
15. 山本宜司：頼重市長、本日は卓話宜しく願います。自分は、本日研修会の為、残念ではありますが、又の機会に願います。いつも、応援しています。
16. 杉山恵嗣：先週は、欠席させていただきました。
17. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮RC

12月3日(月) →1日(土) 夜間例会 ファミリー忘年会

2. 連絡事項

ございません。

沼津市長 頼重秀一様



市長就任後、所信を述べる機会をいただきました事に感謝を申し上げます。

私は、目指すまちづくりに実現に向けて、以下の3点を重点施策と位置付け、総合的に推進してまいります。

<活力あふれるまちづくり>

第一に「活力あふれるまちづくり」です。本市が持続的に発展していくためには、まちづくりの基礎となる都市基盤整備や地域経済の活性化を図るための産業振興に取り組み、未来へ向けて更なる可能性を感じられる、活力あるまちをつくる必要があります。

<いきいき暮らせるまちづくり>

次に「いきいき暮らせるまちづくり」です。まちの主役である「人」を大切に、子供からお年寄りまで、市民の誰もが明るくいきいきと暮らせるまちをつくることは、行政に求められる最も重要な役割であります。福祉や教育、防災など、市民生活を支える施策にしっかりと取り組んでまいります。

<魅力輝くまちづくり>

最後に「魅力輝くまちづくり」です。本市がかつてのようになぎわいを取り戻すには、市民が沼津に愛着と誇りを持って暮らすことができ、市外の方からも、「沼津に住みたい、行ってみたい」と感じてもらえる、魅力輝くまちをつくるのが大切です。

美しく豊かな海をはじめとする素晴らしい自然環境と、高尾山古墳や白隠禅師に代表されるそれらの風土に育まれた歴史・文化は、沼津の誇るべき地域資源であります。

以上、市政運営にあたりまして、私の基本的な考え方、重点的に取り組む施策の概要について申し上げます。

沼津が誇り高い、元気なまちとなることは、静岡県東部地域全体の発展にも資するものと考えております。

そのためには、近隣市内としっかり連携し、本市がその牽引役を果たせるよう、私の持てる力の全てを発揮し取り組んでまいりますので、議員各位及び市民の皆さまには、今後の市政運営に格段のご理解、ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。